

Ⅱ 前橋の景観特性

1 | 景観形成のこれまでの歩み

本市では、平成5年の「都市景観条例」の制定から本格的に景観形成の取り組みが始まり、平成8年に策定した都市景観形成基本計画（旧計画）では、「歩いて楽しい前橋のまちづくり」を基本目標に、「水と緑がおりなすふるさとを育てる」・「歴史にはぐくまれた文化を育てる」・「人にやさしい生活環境をつくる」・「まちに魅力ある個性をつくる」を基本方針として良好な景観の実現を目指してきました。

その後、本市は中核市への移行により景観行政団体となり、旧4町村との合併により赤城山の山頂からふもとまでが市域となったことから、従前の目標や方針を概ね引き継ぎつつ、景観法に基づいて内容を再構成する形で景観条例並びに景観計画（前計画）を定めました。

それから現在に至るまで、「振り返りたくなる風景がある」をテーマとした景観形成を進めながら、広瀬川河畔景観形成重点地区の指定や、再生可能エネルギー発電設備設置条例の施行、違反広告物に対する是正指導計画の策定、景観資産登録制度の創設などにも取り組んできました。

平成 5 年	3 月	前橋市都市景観条例の制定
平成 8 年	3 月	前橋市都市景観形成基本計画（旧計画）の策定
平成 10 年	3 月	前橋市屋外広告物法等施行規則の制定
平成 10 年	4 月	群馬県から屋外広告物に関する 16 項目の事務委譲を受け許可事務開始
平成 14 年	3 月	景観形成モデル地区（けやき通り地区一本町二丁目一）の指定
平成 16 年	12 月	大胡町・宮城村・粕川村と合併、景観法の施行
平成 20 年	12 月	前橋市屋外広告物条例の制定（群馬県からの事務移譲）
平成 21 年	4 月	中核市へ移行（景観行政団体へ移行）
〃 年	5 月	富士見村と合併（現在の市域となる）
〃 年	10 月	前橋市景観計画（前計画）の策定
平成 22 年	3 月	前橋市景観条例の制定
平成 24 年	8 月	前橋市違反広告物是正指導計画（第一次）の策定 ※現在第三次計画期間中
平成 28 年	9 月	前橋市自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例（再エネ条例）の制定
平成 29 年	9 月	広瀬川河畔景観形成重点地区（朔太郎の散歩道）の指定の告示 広瀬川河畔屋外広告物特別規制地区の指定の告示
令和 元年	10 月	前橋市景観資産登録制度の創設
令和 2 年	3 月	地区計画等区域に係る色彩基礎調査の実施
令和 7 年	3 月	赤城山景観ガイドライン策定
令和 8 年	3 月	前橋市都市計画マスタープラン改訂

2 | 市民の実感

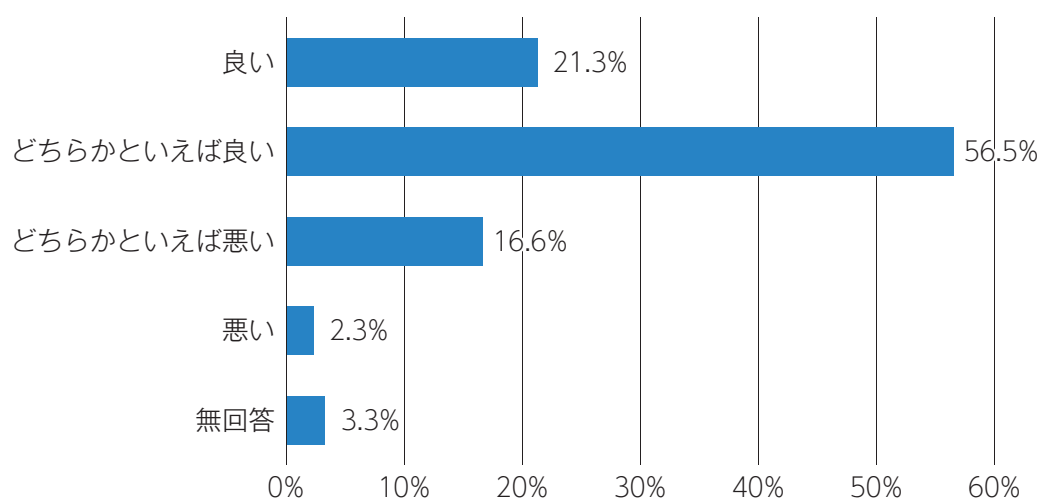
(1) 令和5年度市民アンケート

景観形成は成果が現れるまでに長い期間を要する特性があることから、本市の取り組みが効果的であったかどうかを直ちに把握することは困難です。このため、取り組みの効果を確認する上での一つの指標として、市民アンケートを活用しました。

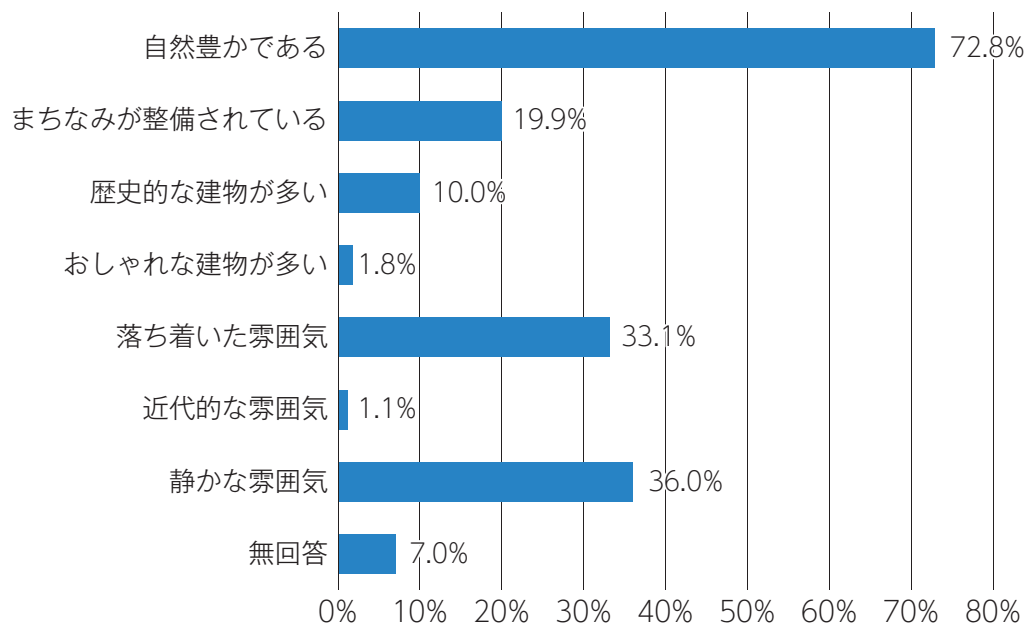
令和5年度の市民アンケートで景観に関する質問項目を設けたところ、比較的良好な結果が得られました。なお、良いと答えた方の多くが「自然の豊かさ」をその理由とし、続いて「静かさ」や「落ち着き」を挙げており、これらが本市を象徴する景観的な特性（景観特性）の源泉であると推察されます。

調査地域	前橋市全域
調査対象	15歳以上の市民
調査対象者数	5,500人（回答者数 3,052人、回答率 55.5%） 【内訳】 ①市民 5,000人 ②本市と包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民 500人
抽出方法	①住民基本台帳から無作為に抽出 ②企業・大学等 18 団体に調査票をまとめて送付
調査方法	郵送による調査票の配布、郵送と Web による調査票の回収
調査基準日	令和5年 10 月 1 日
調査期間	令和5年 11 月 27 日～令和5年 12 月 22 日 令和5年 12 月 25 日到着分までを集計対象としている

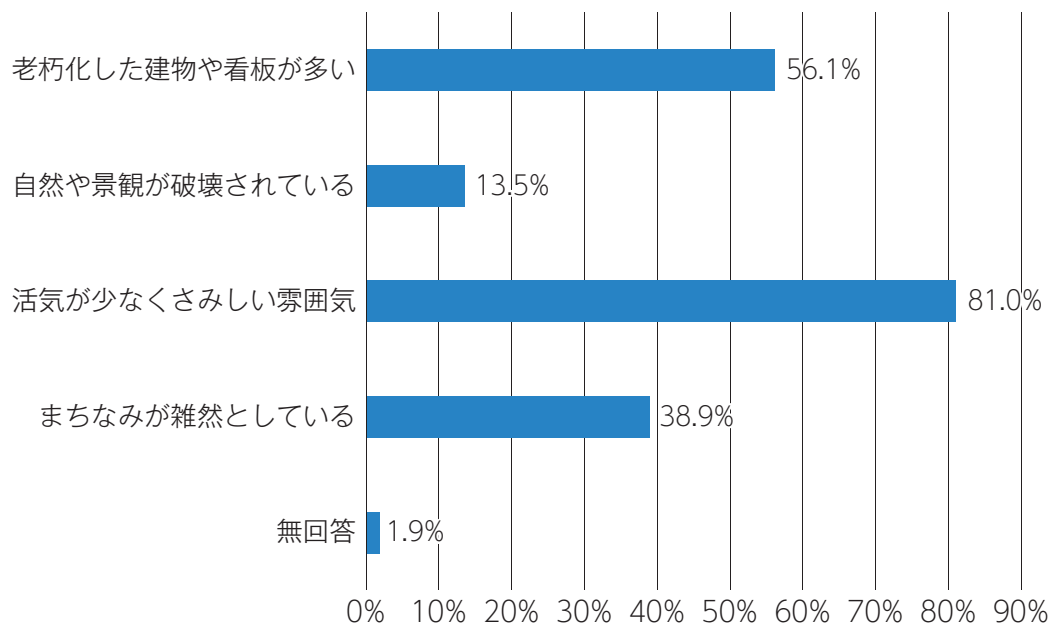
【Q あなたは、前橋の景観についてどのように感じていますか】



【Q どのようなところが良いと感じますか】



【Q どのようなところが悪いと感じますか】



(2) 対話型説明会等でのアンケート

令和5年度に実施した市民アンケートを補完するため、令和7年度に対話型説明会と景観に関するアンケートを実施したところ、概ね同様の傾向が確認されました。

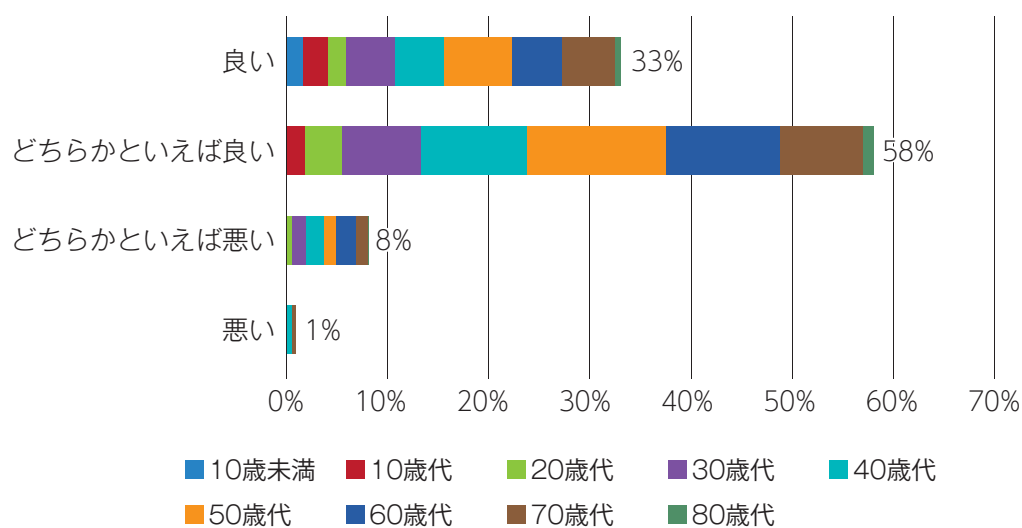
とりわけ、市民アンケートから推察されていた「自然の豊かさ」、「落ち着いた雰囲気」、「静かな雰囲気」が本市を象徴する景観特性であるとの傾向についても同様の結果が得られました。

対話型説明会の会場は、幅広い年代の意見を聞くため、子育て関連施設のある前橋プラザ元気21や、高校生学習室（アクエル前橋）、また、各地域の自治会にも説明を行いながらアンケートを実施しました。

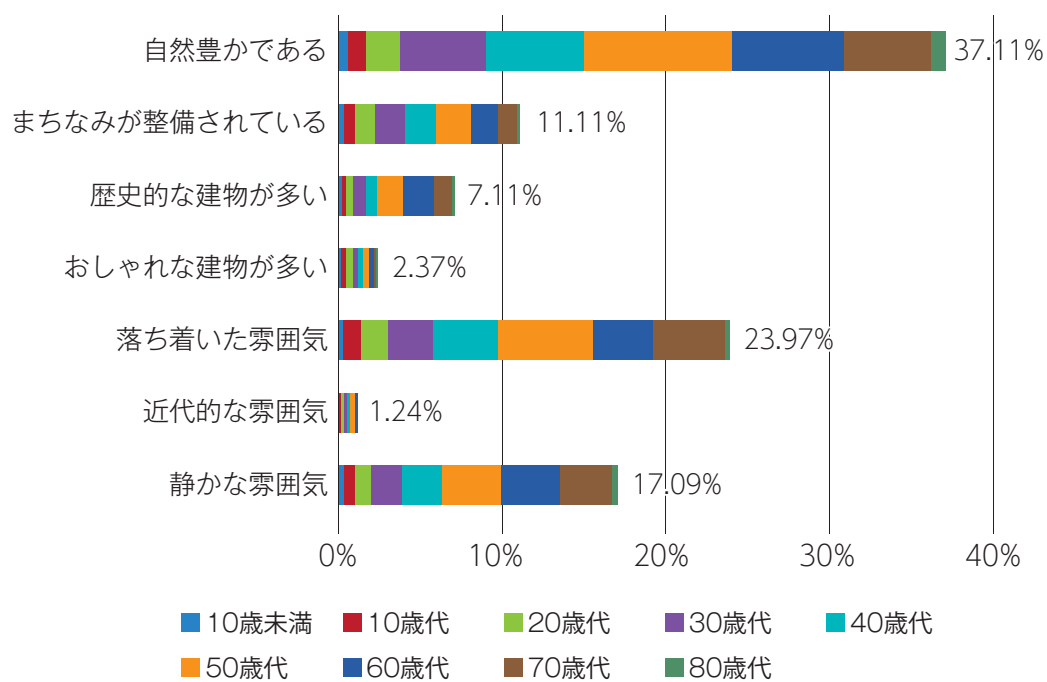
今回、新たに追加した自由記載意見では、「好きな歴史を感じる建物」について、回答者の多くが臨江閣を挙げており、特に支持が高いことが確認されました。対話型説明会では、若年層を含む年代の方が、臨江閣を選んだ理由として「行事等で利用したことがある」といった声もあり、「臨江閣の利用経験が想起と愛着を高め、選好につながっている」とものと考えられます。

回答者	居住地域	前橋市 82.2%、市外 17.8%	
	年代	10歳未満 1.6%、10歳代 4.2%、20歳代 6.1% 30歳代 14.1%、40歳代 17.4%、50歳代 22.0% 60歳代 18.1%、70歳代 14.7%、80歳代 1.8%	
	人数	923人	
対話型 説明会等	①	実施日	令和7年11月22日（土）、23日（日）
		対象	全世代
		会場	前橋プラザ元気21 3階通路
	②	実施日	令和7年12月6日（土）
		対象	高校生
		会場	前橋市高校生学習室（アクエル前橋2階）
	③	実施日	令和7年11月12日（水）から令和7年12月11日（木）
		対象	各地区自治会

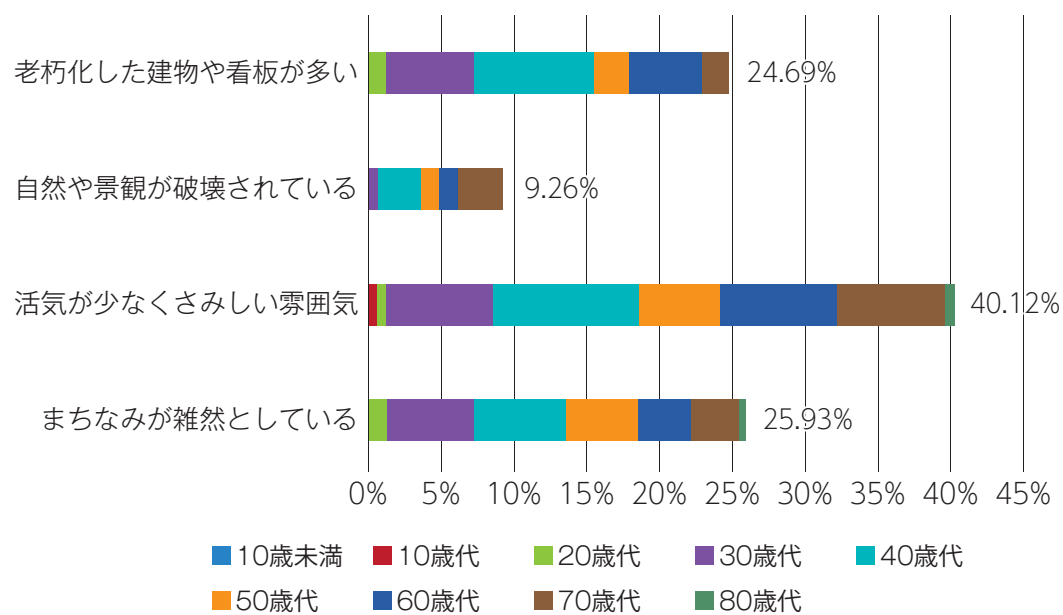
【Q あなたは、前橋の景観についてどのように感じていますか】



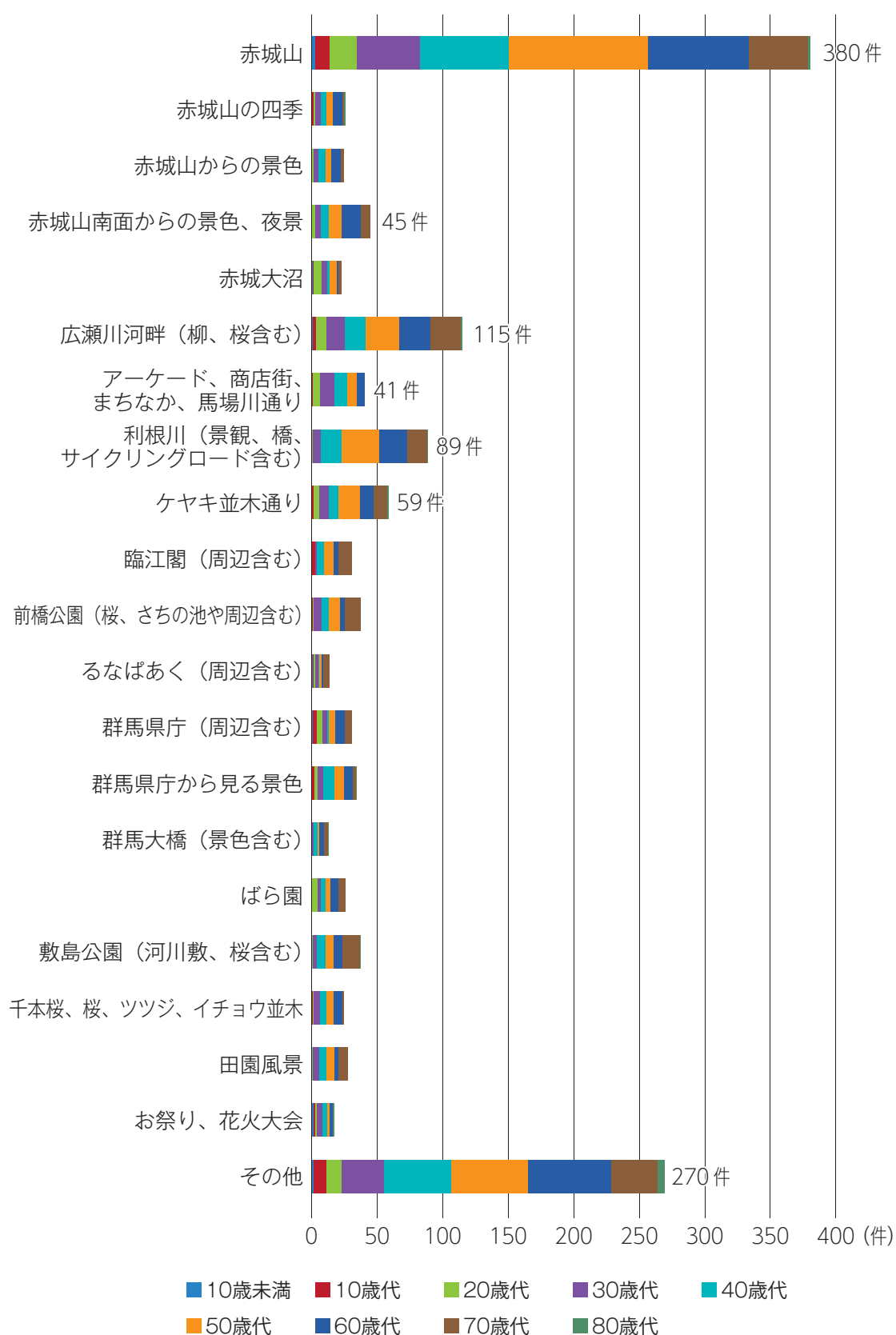
【Q どのようなところが良いと感じますか】(複数回答)



【Q どのようなところが悪いと感じますか】(複数回答)

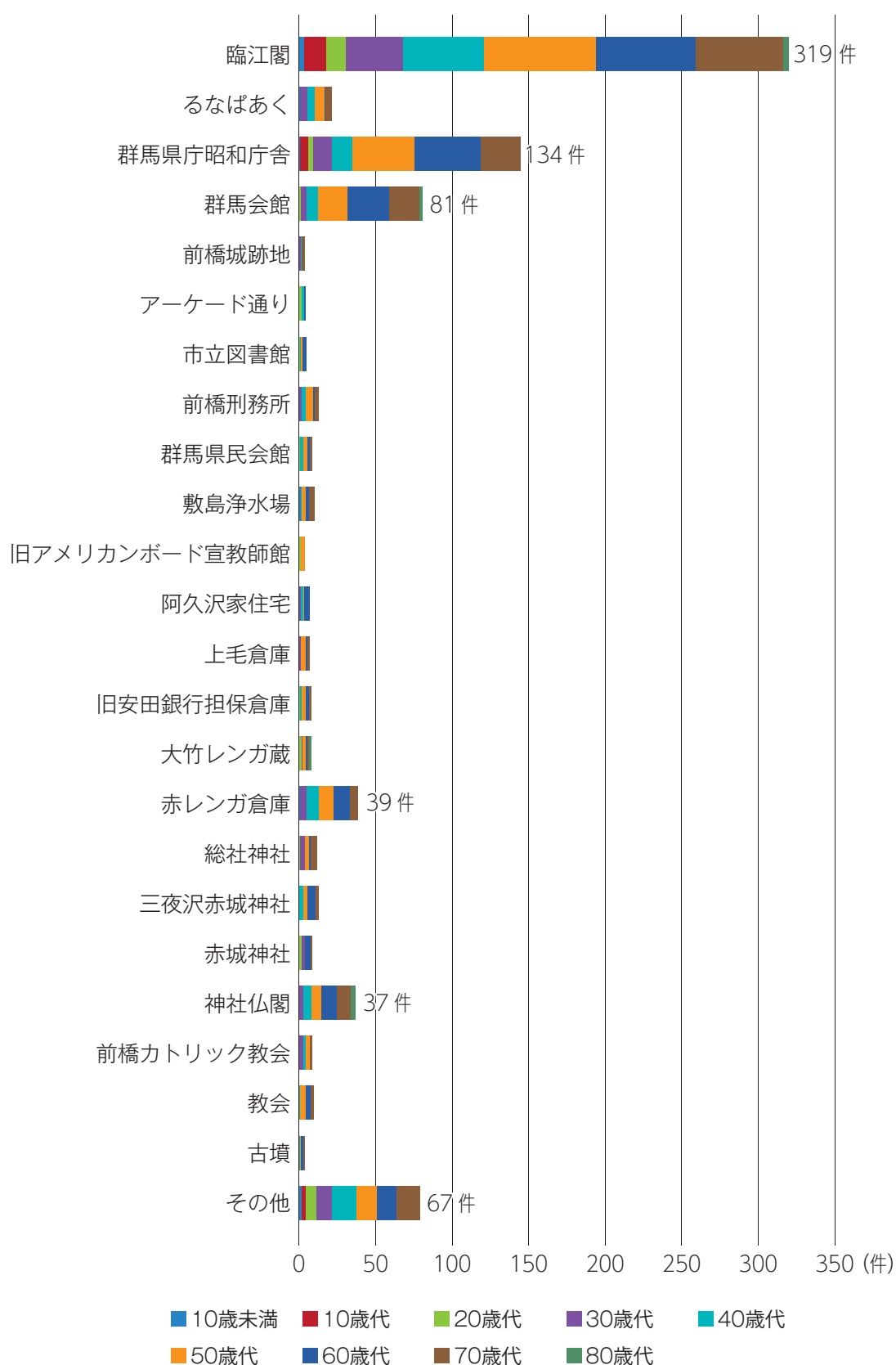


【Q 「あなたの好きな前橋の風景や自慢の景色」を教えてください】（複数回答）



（その他回答例 覚満淵、グリーンドーム、古墳、桃木川周辺、夕日、赤城神社、整備されたまち、敷島浄水場、赤城の鳥居、群馬会館、歴史的な建物や街並み）

【Q 「あなたの好きな歴史を感じる建物」を教えてください】（複数回答）



（その他回答例 グリーンドーム、東照宮、呑龍横丁、萩原朔太郎記念館、白井屋ホテル、敷島公園、広瀬川、朔太郎の詩碑、原嶋屋、上電、赤城の大鳥居、大沼湖畔、大胡、群馬総社駅舎、総社の町並み、蚕糸記念館、天狗岩用水、旧本間酒造、養蚕住宅など）

3 | 地域における景観的な特徴

前計画では、市内の自治会単位で地区を分け、地域の方々の協力を得て各地区の景観的な特徴を網羅した「地区の目カルテ」を作成しました。このたびの改定に当たっては、前計画の策定時点からの地区の風景の変化や、また、新たな施設や特徴的な街並みが現れたのかどうかなど、地域の方々のご協力をいただきながら地区の特徴を更新しました。

ページの見方

【地区名】

■当地区の特徴と課題

※各地区の景観に関する特徴と課題についてまとめています。

各地区の地図

前計画の「地区の目カルテ」をベースとして、地図情報を更新しながら、自治会連合会や対話型説明会のアンケートで得た地区の景観的な特徴を新たに追加しました。

凡 例

- | | |
|-----------|-----------|
| — 地区の区域 | ○ 公共施設 |
| — 河川 | ● 歴史的資源 |
| — 地区計画区域 | ● 公園・緑地資源 |
| — 主要な幹線道路 | |

■データ

【地区指定等】

地区内の景観形成上重要な地区指定を挙げています。

- 風致地区
 - 歴史的風致に関すること
 - 地区計画
 - 景観形成重点地区
- など

【主な景観資源】

景観形成上特徴的な要素について紹介しています。

■景観形成の方向性

※地区の景観形成のためには、どのようなことが必要か。その方向性についてまとめています。

地区区分



【本庁管内】

■地区の特徴と課題

- 整然とした街並みが広がる本市の中心市街地で、JR 前橋駅や群馬県庁、商業施設、基幹病院などが集積し、前橋公園や敷島公園、広瀬川や馬場川などが彩りと潤いをもたらしています。
- 前橋城の城下町から県庁所在地、生糸のまち、戦後の生産都市へと変遷した歴史の面影が点在することから、地区の一部は歴史的風致維持向上計画の重点区域に指定されています。
- 中心商店街では、空き店舗や劣化した屋外広告物が景観阻害要因となっていました。近年では民間主導のまちづくりやアート活動が盛んになり、新たな景観形成が進みつつあります。

■データ

【地区指定等】

- 風致地区
 - ・ 厩城 ・ 敷島
- 歴史的風致維持向上計画重点区域
 - ・ 厩橋地区
- 地区計画
 - ① 前橋駅南口地区
 - ② J R 前橋駅周辺地区
 - ③ 千代田町三丁目地区
 - ④ 昭和町三丁目地区
 - ⑤ 千代田町中心拠点地区
- 景観形成重点地区
 - ・ 広瀬川河畔（久留万橋～厩橋）
- 景観形成モデル地区
 - ・ けやき通り地区一本町二丁目一

【主な景観資源】



臨江閣
（国指定重要文化財）



群馬県庁昭和庁舎
（国登録有形文化財）



前橋公園のハクモクレン
（前橋市景観資産）



広瀬川河畔と比刀根橋
（前橋市景観資産）



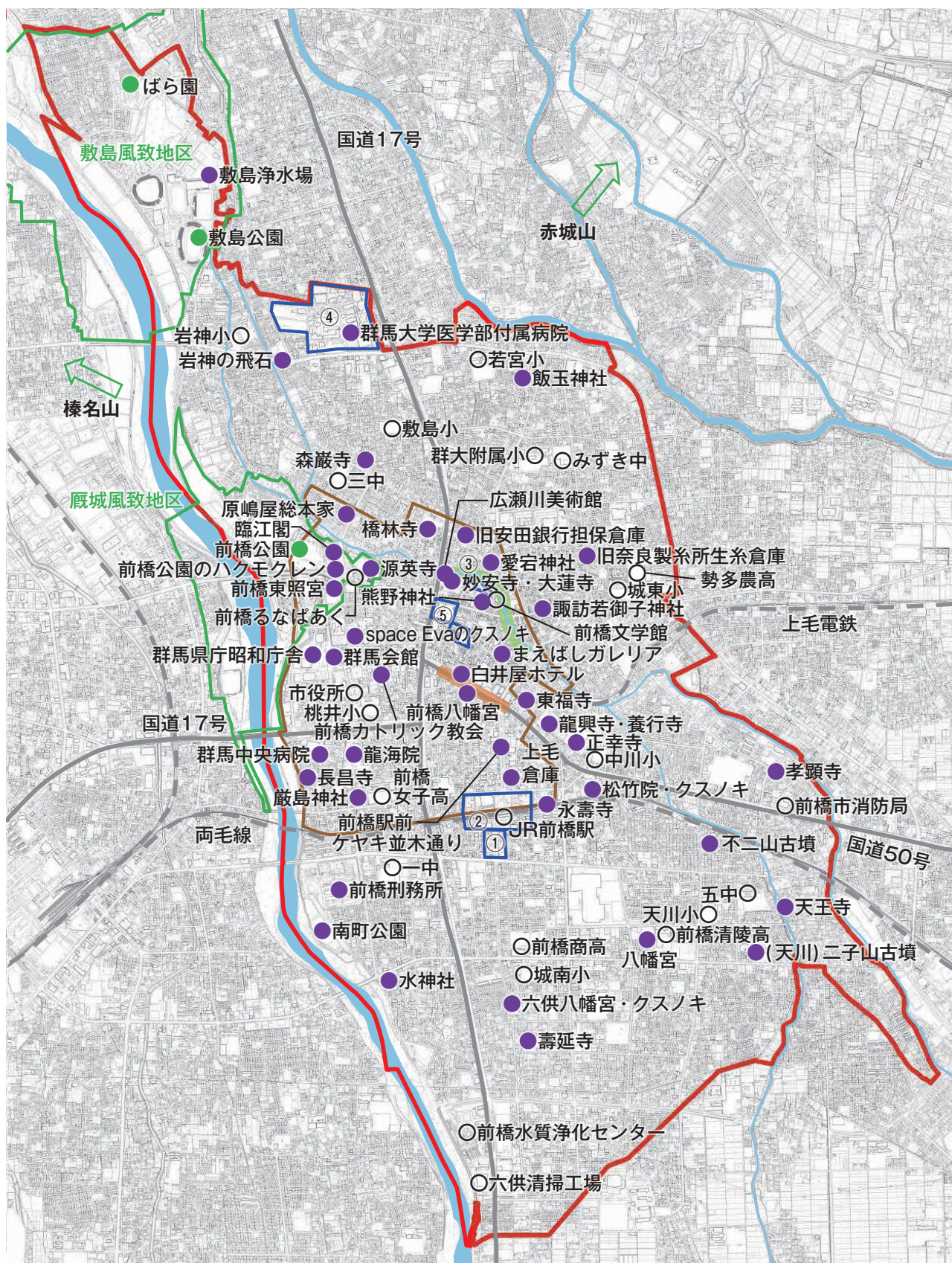
前橋刑務所レンガ塀及び表門
（前橋市景観資産）



岩神の飛石
（国指定天然記念物）

■景観形成の方向性

- 広瀬川河畔景観形成重点地区の拡張
 - ・ 歴史的風致維持向上計画（R 4）において、景観形成重点地区の拡張が位置付けられています。
- けやき並木通り（JR 前橋駅前～群馬県庁）の新たな景観形成施策
 - ・ 前橋市アーバンデザイン（R 1）の策定エリアであり、旧都市景観条例における景観形成モデル地区の区域も含まれることから、景観形成からのアプローチが求められます。
- 敷島公園周辺の景観のあり方
 - ・ 敷島エリアランドデザインを生かした周辺エリアのあり方を模索する必要があります。

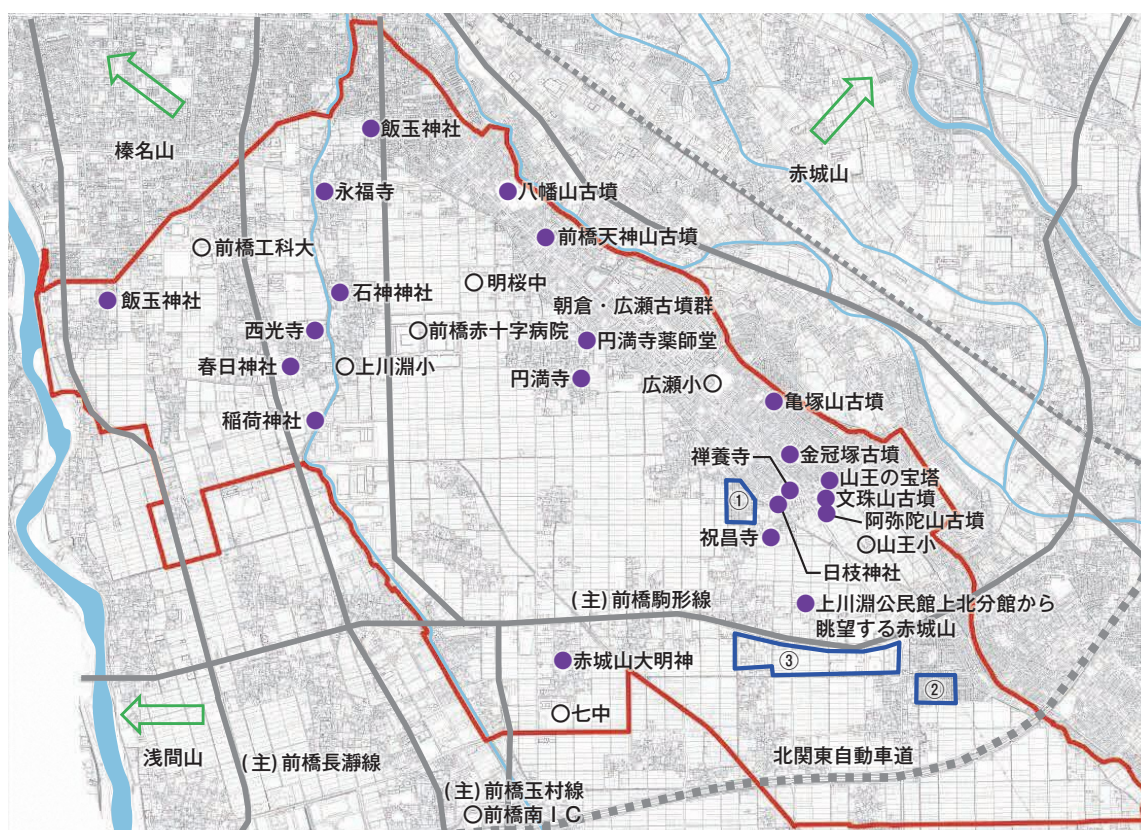


- 景観形成重点地区（広瀬川河畔）
- 景観形成モデル地区（けやき通り地区一本町二丁目一）
- 地区計画
- 風致地区
- 歴史的風致維持向上計画重点区域（厩橋地区）

【上川淵地区】

■地区の特徴と課題

- 当地区は、整然とした街並みの住宅地と工業地、平坦で広がりのある水田地帯、点在する農村集落で構成され、「美田」と称される田園風景と大きく開けた赤城山の眺望が特徴的です。
- 住宅地の一部は、「朝倉・広瀬古墳群」を開削した土地であるため、住宅地の中に大小の古墳が見られる独特の街並みとなっています。
- 農村集落の中には、「環濠屋敷」と呼ばれる古い屋敷構えを備えた住宅が散見されますが、時代の流れとともに減少傾向にあります。
- 令和元年に前橋赤十字病院が移転新築され、周辺道路の拡幅や新設等と相まって地区の発展が期待される一方、交通事情や地区景観の変化が懸念されています。



■データ

【地区指定等】

- 地区計画
 - ①西善住宅団地
 - ②中内地区
 - ③西善・中内地区

【主な景観資源】



八幡山古墳
(国指定史跡)



上川淵公民館上北分館から眺望する
赤城山(前橋市景観資産)



環濠屋敷

■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観の保全
 - ・当地区の特徴である「美田」と赤城山の眺望を保全する景観形成施策が求められます。
- 拠点施設の道路景観
 - ・前橋赤十字病院の周辺道路は、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

【下川淵地区】

■地区の特徴と課題

- 当地区は、整然とした街並みの住宅地と工業地、平坦な農地、農村集落で構成され、本市の南の玄関口である北関東自動車道・前橋南IC周辺を中心に発展を続けています。
- 利根川の橋上からの景色や田園風景越しに見る赤城山の眺望に優れ、点在する環濠屋敷や祭祀に由来する歴史的資源が、集落固有の景観を形成しています。
- 地区内には、北関東自動車道のほかにも地区を縦断・横断する幅員の広い道路が複数あり、地域の一体感の醸成や地域づくり活動への影響が懸念されています。
- ICに隣接する大型ショッピングモールは、本市の新名所として週末には市内外から大勢の来客がありますが、それに伴う交通渋滞の発生や住環境への影響が課題となっています。

■データ

【地区指定等】

- 地区計画
 - ①下川地区
 - ②亀里地区
 - ③前橋南部地区
 - ④力丸工業団地
- 西地区

【主な景観資源】



亀里町阿内宿の石幢
(市指定重要文化財)



極楽寺の大けやき



■景観形成の方向性

- 特徴的な地区景観の保全
 - ・当地区の特徴である赤城山の眺望と集落景観を保全する景観形成施策が求められます。
- 拠点周辺の道路景観
 - ・ショッピングモールの周辺道路は、屋外広告物の適正配置には特に留意する必要があります。

■ 地区の特徴と課題

- 公営墓地である嶺公園を中心に、北部には豊かな森林と農地が残されていますが、近年、太陽光発電設備の設置が増加しており、自然環境や景観面への影響が課題となっています。



○地区計画

- ①五代南部圯地

A bronze statue of a seated Buddha figure, likely a Bodhisattva, displayed in a museum setting. The statue is seated in a meditative posture (Padmasana) with its hands resting in its lap. It has a serene expression and is adorned with a tall, ornate crown (Mukuta). The background is a warm, reddish-brown wall, and the statue is flanked by small, decorative golden objects.

鐵造阿彌陀如來坐像
(善勝寺・國指定重要文化財)



オブ塚古墳
(市指定史跡)



養蚕農家・小林邸
(前橋市景観資産)



端気町から眺望する赤城山
(前橋市景観資産)

○特徴的な地区景観の保全

- 22

【桂萱地区】

■地区の特徴と課題

- 市域の中央部に位置し、古くからの住宅地と農地が大半を占め、本庁管内に隣接する区域と東部の一部区域には整然とした街並みの住宅地が広がっています。
- 地区の一部は、剣術・新陰流の祖として知られる「上泉伊勢守」にまつわる歴史的風致が認められる範囲となっているほか、祭祀に由来する歴史的資源が各地域固有の景観を形成しています。
- 赤城南麓の斜面から続く寺沢川や薬師川、平坦な水田地帯を構成する桃ノ木川や赤城白川など、東西・南北方向の河川が生み出す斜面地の緑と田園風景が特徴的です。
- 地区内を国道17号上武道路や主要県道、上毛電鉄が通り、交通機能が充実していますが、道路・公益施設間のアクセス向上と地区景観保全とのバランスが求められています。



■景観形成の方向性

- 歴史的風致の維持向上
 - ・当地区の歴史的風致を維持するとともに、来訪者へのおもてなしの向上が求められます。
- 都市機能の向上と景観保全のバランス
 - ・駅周辺の機能向上とあわせて、無秩序な市街化の抑制と景観保全を考える必要があります。

■データ

【地区指定等】

- 歴史的風致が認められる範囲
 - ・上泉町の一部
- 地区計画
 - ①富田地区

【主な景観資源】



上泉郷蔵
(県指定史跡)



上泉伊勢守銅像



桃ノ木川
サイクリングロード

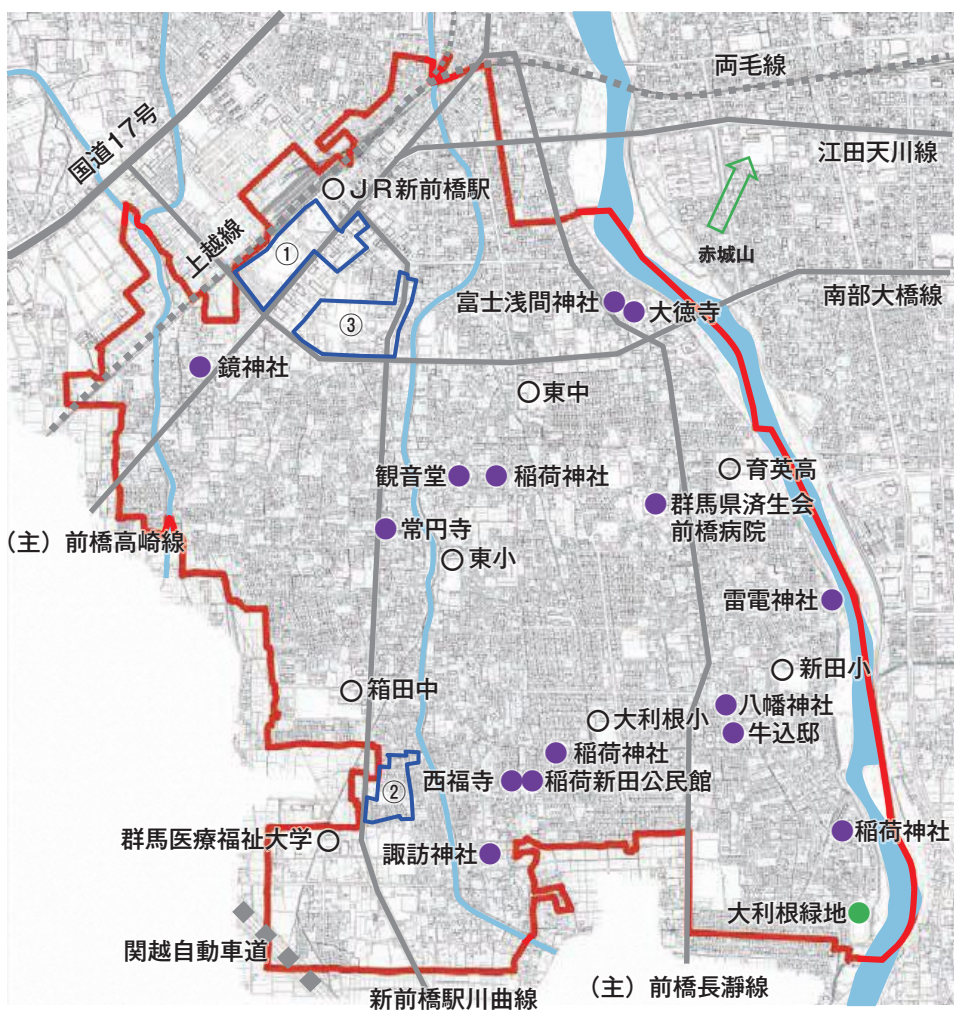


老舗三俣せんべい本店
(前橋市景観資産)

【東地区】

■ 地区の特徴と課題

- 高崎市に隣接する当地区は、利根川の右岸沿いに広がり、昭和40年代に造成された県内初の大規模住宅団地に象徴されるようにその大半が住宅地で構成されています。
- 地区北部には、東京・高崎方面からの玄関口である JR 新前橋駅があり、駅周辺には公共施設や商業施設、オフィス、地域中核病院などが集積し、本市の地域核に位置付けられています。
- 利根川や滝川、染谷川沿いの緑地や、道路沿いの街路樹が地域に彩りをもたらす一方、住宅地内の農地は減少傾向にあり、身近な緑地や赤城山の眺望の保全が課題となっています。
- 複数の鉄道路線が乗り入れる JR 新前橋駅は、オフィスや学校などの集積もあって多くの乗降客が見られますが、駅周辺では屋外広告物が乱立し、駅前景観のあり方が懸念されています。



■景観形成の方向性

- JR新前橋駅周辺の景観のあり方
 - ・本市の西の玄関口であり、都市機能が集積した地区にふさわしい景観形成が求められます。
- 地区景観の保全
 - ・生活の中で潤いや安らぎが感じられる地区景観を維持保全する必要があります。

■データ

【地区指定等】

- 地区計画
- ①新前橋駅南地区
 - ②川曲地区
 - ③新前橋駅前第二・第三地区

【主な景観資源】



大徳寺総門
(市指定重要文化財)



新前橋駅前の街並み



農家表門等・牛込邸
(前橋市景観資産)



諏訪神社